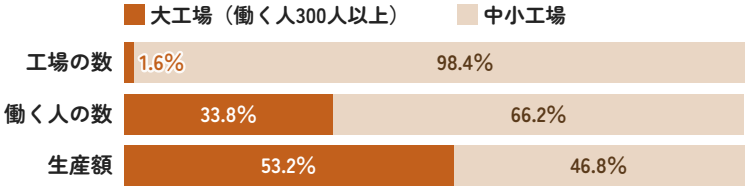
これからの工業生産とわたしたち　答え

1まいで100点　答え　　月　日 名前

1 グラフは、大工場と中小工場をくらべたものです（2024年）。　(1)〜(4)5点 (5)10点（30点）　よく出る



資料：経済産業省「経済構造実態調査」（2024年）

(1) 大工場は、働く人が何人以上？ 300人 以上

(2) 工場の数で、中小工場は約何%？ 約98%

(3) 働く人の数が多いのは？ ア 大工場　イ 中小工場
イ

(4) 生産額が多いのは？ ア 大工場　イ 中小工場
ア

(5) 働く人1人あたりの生産額が多いのは、大工場・中小工場のどちらですか。理由も書きましょう。

大工場。大きな機械やロボットを使って、少ない人数でたくさんつくっているから。

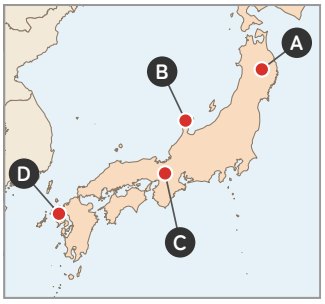
2 中小工場 ○× 1つ5点（15点）　きほん

(1) 中小工場の中には、世界中で使われる部品をつくる所がある。 ○

(2) 中小工場が、大工場に部品をとどけることはない。 ×

(3) いくつかの中小工場が協力して、1つの製品をつくることがある。 ○

3 伝統的工芸品　1つ5点（25点）　きほん



語群 有田焼　南部鉄器　西陣織（じん）織　輪島ぬり

(1) 地図のA〜Dでつくられている工芸品を書きましょう。

A 南部鉄器　B 輪島ぬり
C 西陣織（じん）　D 有田焼

(2) 国が伝統的工芸品に指定するのは、おおむね何年以上の歴史がある物？

100年

4 これからの工業生産　1つ10点（30点）　★チャレンジ

資料1　伝統的工芸品の生産額は1980年代をピークに減り、2016年度には1000億円を下回った。働く人は約4.8万人（2022年度）で、70才以上の人が約2割。

資料2　工場が海外にうつって、国内の工場や働く場所が減ることを「産業の空どう化」という。（資料1：経済産業省）

(1) 資料1から、伝統工業の課題を書き、その解決のくふうを1つ書きましょう。

課題：生産額が減り、後つぎも少ない。くふう：今のくらしに合う製品をつくり、外国にも売り出す。

(2) 空どう化をふせぐために、日本の工場ができることを書きましょう。

高い技術を生かして、日本でしかつくれない製品を開発する。

(3) これからの日本の工業が発展するために大切なことを、「わたしは〜と考えます。なぜなら〜」の形で書きましょう。

（れい）わたしは、中小工場の高い技術を生かすことが大切だと考えます。なぜなら、ほかの国にない製品をつくれば、世界に売れるからです。

解説 1 (2) 100−1.6＝98.4。(5) 大工場は働く人33.8%で生産額53.2%をつくっています。 3 A 岩手県、B 石川県、C 京都府、D 佐賀県。 4 (1)は課題とくふうの両方で10点。(3)は考えと理由の両方が書けていれば正解。

おわったら ○を つけよう　◯ できた！　◯ もういちど！